

記 雑 城 淳

東日本大震

災・大津波の復旧状況を自分の目で確かめたいと、2年前の3月初旬に友と二人で宮城県石巻市から岩手県釜石市までの三陸海岸を車で巡った。その際、仮設の復興商店街の情報ステーションで、気になる案内チラシを見つけた▼被災地巡礼の道づくりを進めるため候補地を募集中との内容。名付けて「東北お遍路（おんろみち）プロジェクト」。

福島県から青森県まで沿岸地帯に一般公募で88カ所の慰霊・鎮魂のための巡礼ポイントを設けるといいう▼「四国八十八ヶ所」のように全国いや世界から

東北お遍路

つて活性化にもつなげたいと訴えていた▼その頃、多くの児童が亡くなった石巻市の大川小学校、南三陸町志津川の防災対策庁舎、気仙沼市の陸に打ち流された漁船の第18共徳丸など震災遺構の保存・解体が論議されていた。遺族や地域の人々の感情を思えば複雑にならざるを得なかっただけに、民間から持ち上がった事業に強い関心を抱いた▼その巡礼地の第1次分が4日発表された。青森1、岩手9、宮城24、福島19の53カ所。陸前高田市の「奇跡の一本松」、友と訪ねた石巻市の日和山公園、ボランティアの参加の際に立ち寄った大船渡市吉浜海岸の津波記憶石、視察先のいわき市小名浜のアクアマリンパークも▼その地を思い出しながら、震災を風化させてはならないと誓った。早い機会の一つの日か、東北巡礼の旅に出たい。

お遍路を呼び込む、震災と津波の記憶を1000年先まで語り継ぐ、「巡礼の道」を新たな交流資源とする、被災地域の広域的なネットワークをつくる―が狙いで、そのことによ

上がった事業に強い関

心を抱いた▼その巡礼地の第1次分が4日発表された。青森1、岩手9、宮城24、福島19の53カ所。陸前高田市の「奇跡の一本松」、友と訪ねた石巻市の日和山公園、ボランティアの参加の際に立ち寄った大船渡市吉浜海岸の津波記憶石、視察先のいわき市小名浜のアクアマリンパークも▼その地を思い出しながら、震災を風化させてはならないと誓った。早い機会の一つの日か、東北巡礼の旅に出たい。